

危険

蔓延する恐ろしい薬物

ドラッグ



危険ドラッグの存在を決して許してはいけません

上映時間 約13分

DVD 50,000円(税別)

企画・制作 鹿児島文化企画 〒892-0816 山下町7-15 平和ビル202

TEL 099(805)1340 FAX 099(805)1341

制作意図

近年、危険ドラッグによる重大な事件・事故が多発しています。危険ドラッグによる事件・事故を他人事とは思わず、蔓延する恐ろしい薬物「危険ドラッグ」について知り、危険ドラッグをゆるさない社会をつくっていくことを目的に制作しました。

作品の内容

危険ドラッグについてインタビューを行ったところ危険ドラッグという言葉自体は知っているが、どのようにして作られているかは知られていませんでした。

危険ドラッグとは

危険ドラッグは、人体に有害なさまざまな薬物を植物につけて乾燥させて作られたものです。

危険ドラッグは、製造や販売、購入したり所持、使用、譲り受けも禁止されています。違反すると罰則が科されます。

危険ドラッグの取り締まり

警察は、販売店の摘発を進め、製造している大もとの取り締まりにつなげたいとしています。危険ドラッグの原料となる薬物は海外の化学工場などで製造されているとみられ、規制や摘発が難しい状態です。

製造された薬物は国際郵便や小包で国内に持ち込み、マンションなどの一室で植物と混ぜて危険ドラッグが作られています。原料となる化学物質を手に入れることは難しくないため私たちの身近なところで危険ドラッグが作られているかもしれません。

危険ドラッグの人体への影響

危険ドラッグを使用して救急搬送されたり、死亡する事故が増えています。吐瀉物をのどに詰まらせたり、転倒事故に遭う危険性があるだけでなく、高熱や脈拍の急激な上昇で心不全、重篤な腎不全を引き起こして死亡することがあります。また、危険ドラッグは、意識障害、嘔吐、錯乱、幻覚、疲労感、幻聴などを引き起こす大変危険なものです。呼吸困難で死亡する場合があります。

危険ドラッグの流通

危険ドラッグはインターネットで簡単に手に入れることができます。ホームページには薬事法対象外商品、違法とされている成分は含んでいないなどと記載されていることがありますが、それは治療法が確立していない、違法薬物以上に危険であるということです。そして、それらを勧めてくる人は「覚せい剤より依存性は強くない」「1回だけなら大丈夫」などと軽い言葉で勧めてくる場合がありますが、危険ドラッグは依存性が非常に高く、1回の使用で死亡することのある大変危険な薬物です。

危険ドラッグの関連した事件・事故

- ・ 路上で10代の少年が吐き気などの症状を訴えて救急搬送
- ・ 車を運転し事故を起こし、15人にけがをさせた
- ・ 路上で暴れ意識を失い、急性薬物中毒で死亡
- ・ 奇行を繰り返し、建物の屋上から飛び降りて死亡
- ・ 男性が同居の女性を殺害

危険ドラッグによる事件・事故は全国で発生しています。いつだれが危険ドラッグによる事件・事故に巻き込まれるかわかりません。他人事とは思わず、みなさんが危険ドラッグのない社会を強く望むことで蔓延する恐ろしい薬物「危険ドラッグ」による事件・事故を根絶することができます。危険ドラッグの存在を決して許してはいけません。

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2 〒336-0911
電話048-810-5277 Fax048-876-2955